

添付資料

添付資料1 事前調査票とヒアリングシート

母子家庭の就業支援に関する事前調査 お願い

(独)労働政策研究・研修機構は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの要請を受けて、母子世帯の母への就業支援における自治体の先進的な取り組みについて調査しています。

貴自治体は多くの母子家庭の母の就業を支援している実績があるため、今回の調査対象に選ばせて頂きました。後日インタビューで詳しく伺う予定ですが、その前に母子家庭の母の就業支援に関する基礎的事実や情報をこの調査シートにてご記入いただければインタビューを効率的にすすめることができます。

お忙しいところ、面倒なお願いでまことに恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。ご不明な点は下記にお問い合わせ下さい。

(独)労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

担当 周 燕飛

電話 03-5991-5173 (直通) Eメール shu@jil.go.jp

(記入上のご注意)

- なるべく正確な数字をご記入ください。
- 質問の中でお答えになりにくい所がありましたら、その部分は無記入のままで結構です。
- 記入された調査シートを下記の番号へFAXで送ってください。

FAX 番号 03-5991-5133 (周まで)

母子家庭の就業支援に関する事前調査（行政）

記 入 日 _____年____月____日

調査回答者氏名 _____

調査回答者所属・肩書 _____市_____課・局_____

（就業支援）

1. 母子家庭の母に対する以下の5つの支援事業について、平成18年度の実施状況をご記入ください。

	母子家庭 就業・自 立支援セ ンター事 業	自立支援 教育訓練 給付金事 業	高等技能 訓練促進 費事業	常用雇用 転換奨励 金事業	母子自立 支援プロ グラム策 定事業	特定求職 者雇用開 発助成金
H18年度利用者数						
H18年度就職者数						
うち、常勤数						
H18年度費用総額(万円)						
H19年度費用総額(万円)						

2. 各事業に当初予算を上回った受講希望がある場合、どのように対処していますか。

3. 自立支援教育訓練給付金事業の対象となる資格を教えてください。

4. 高等技能訓練促進費事業について、対象としている資格名を教えてください。

5. 常用雇用転換奨励金事業が企業に利用されやすいように何か工夫していますか。

とくに何もしていない

工夫している

具体的にどのような工夫をされていますか。

(例えば、チラシでの事業宣伝、企業訪問による利用促進等)

6. 母子家庭高等技能訓練促進費事業を母親の就職に繋がるように何か工夫していますか。

とくに何もしていない

工夫している

具体的にどのような工夫をされていますか。

(例えば、対象訓練コースの選定)

7. 母子家庭自立支援教育給付金事業を母親の就職に繋がるように何か工夫していますか。

とくに何もしていない

工夫している

具体的にどのような工夫をされていますか。

(例えば、就業に繋がる見込みのあるコースに対象者を絞る等…)

8. 貴自治体の行っている就業支援事業を母親に知ってもらうために、どのような宣伝活動を行いましたか。当てはまる項目にすべてチェックをいれてください。

駅にポスターを張る、

保育園を通じてチラシを配る

ハローワーク等の公共施設にチラシを置いてもらう

インターネットで配信する

便り等を定期的に発行する

その他 (具体的に_____)

とくに工夫していない

9. 母子家庭の母の就業支援に当たって、就職件数を重視していますか、就職の質 (常勤かどうか) を重視していますか。

就職件数を優先している。

就職の質を優先している。

どちらともいえない。

(子育て・生活支援)

1. 母子家庭の母の認可保育所の利用状況をご記入ください。

- ◇ H18 年度認可保育所に入所した母子家庭の子供数 () 人
 - うち就職しているもの () 人
 - うち求職しているもの () 人
- ◇ H18 年度母子家庭の保育待機児童数 () 人

2. ひとり親家庭等日常生活支援の利用状況をご記入ください。

- ◇ H18 年度延べ利用者数 () 人
 - うち就職しているもの () 人
 - うち求職しているもの () 人
- ◇ ひとり親家庭等日常生活支援の予算規模は、今後増やす予定ですか。
 はい いいえ

3. 母子生活支援施設の利用状況をご記入ください。

- ◇ 母子生活支援施設の利用世帯数 ()
- ◇ 母子生活支援施設の定員は、今後増やす予定ですか。
 はい いいえ

4. 市営住宅の入居状況をご記入ください。

- ◇ H18 年度市営住宅に入居している母子家庭数 ()
- ◇ H18 年度市営住宅に申し込んだが入居できなかった母子家庭数 ()

5. 母子家庭の母を正社員として雇っている企業をご存知でしたらご紹介して下さい。

企業名 _____

電話 _____

住所 _____

ヒアリングシート（行政）

記 入 日 _____年____月____日

調査回答者氏名 _____

調査回答者所属・肩書 _____市_____課・局_____

調査員氏名 _____

1. 母子家庭の母に対する公的就業支援事業のうち、とくにうまく行っている（雇用に結びついている）事業は何だと思えますか。その理由は、何ですか。
2. 母子家庭の母に対する公的就業支援事業のうち、あまりうまくいっていない事業は何だと思えますか。その理由は、何ですか。
3. 貴自治体が行われている就業支援の取り組みの中に、とくに有効だと思われたものあれば、ご紹介ください。
4. 母子家庭の経済的自立の最も重要な条件の一つは、「正社員就業」と言われていますか。貴自治体では、母子家庭の母の正社員就業を増やす何かの工夫をされていますか。
5. 母子家庭の母に対する就業支援によって、離婚後に正社員になった事例を一つか、二つご紹介ください。
6. 現在新たに計画中の取組みや、支援目標（シナリオ）を教えてください。
7. 母子自立支援員は配置されていますか。
 - ・ 常勤/非常勤別人数
 - ・ 持っている資格、必要な資格
 - ・ 職歴（支援にあたって役立っている知識や技能など）
 - ・ 職務内容

- ・ 勤続年数
 - ・ 2003年以降、就労支援が主な業務となったが、それに伴い研修など受けているか？
 - ・ 連携をとっている、あるいは情報提供を受けている行政機関、部所など
 - ・ 支援に必要な情報はどのようなものか？ どのように集めているか？
 - ・ プログラム策定員を兼務しているか？
 - ・ 兼務していない場合、プログラム策定員との連携をどのように行なっているか？
8. 自立支援員に直接話が聞けるなら・・・
- ・ 現在担当している母親は何人？
 - ・ 支援する時に役立っている情報はどのようなものか？ どこから得ているか？
 - ・ 支援する時に意識していること、注意すること

(母子家庭支援団体やハローワークとの連携状況)

1. 母子寡婦福祉連合会等の支援団体と連携をとっていますか。「はい」の場合には、どのように連携をとっていますか。
 ※連携の一環として、母子家庭等自立・支援センター事業の委託を挙げている場合には、支援団体に委託をお願いした理由について伺うこと。
2. ハローワークとは、連携をとっていますか。「はい」の場合には、どのように連携をとっていますか。
3. 上記のような連携により、どのような成果をあげていましたか。

母子家庭の就業支援に関する事前調査（支援団体）

記 入 日 _____年_____月_____日

調査回答者氏名 _____

調査回答者所属・肩書 _____

（事業内容）

1. 母子家庭等就業・自立支援センターはいつ設立されましたか。
（ ）年 （ ）月

2. 母子家庭等就業・自立支援センターの設置主体を教えてください。

3. 無料職業紹介事業の実施有無を教えてください。

有 ⇒ 許可年月 （ _____年_____月）

無

4. H18年度特別相談の実施状況を教えてください。

有 ⇒ 延べ相談件数 （ _____ ）件

無

5. センターの職員の配置状況を教えてください。

就業支援員（ ）人、うち常勤（ ）人

生活支援員（ ）人、うち常勤（ ）人

その他（ ）人、うち常勤（ ）人

6. H18年度の就業実績を教えてください。

就職者数（ ）人

うち常勤（ ）人

7. 特別相談の利便性や効果を高めるためにどのような工夫をされていますか。当てはまる項目にすべてチェックをいれてください。

相談時間帯の延長

プライバシーの保護

専門家による相談（弁護士、臨床心理士）など…

その他（具体的に_____）

とくに工夫していない

8. 就業支援講習会の効率を上げるためにどのような工夫をされていますか。当てはまる項目にすべてチェックをいれてください。

- 講習時間の工夫（夜間、休日等）
- 資格取得を目指すなど受講意欲を喚起
- 企業の人事担当者を招いた就職説明会の開催等
- 自習室の提供
- 講習会の会場を分散させる
- その他（具体的に_____）
- とくに工夫していない

9. 貴団体の行っている就業支援事業を母親に知ってもらうために、どのような宣伝活動を行いましたか。当てはまる項目にすべてチェックをいれてください。

- 駅にポスターを張る、
- 保育園を通じてチラシを配る
- インターネットで配信する
- センター便りを定期的に発行する
- その他（具体的に_____）
- とくに工夫していない

10. 母子家庭の母の就業をより効率的に支援するために、行政から今後どのようなサポートがあればいいと思いますか。

- 予算の拡充
- 講習会会場と講師の無料提供と斡旋
- 職員の派遣
- その他（具体的に_____）

(基礎データ)

1. H18年度の就業支援講習会の開催状況

実施時期	コース名 (資格取得を目指す場合は資格名をカッコ内に)	開催回数	講義回数	延べ募集人数	延べ申込者数	延べ受講者数	参加費用(円)	就職人数	うち常勤

2. 母子家庭等就業・自立支援センターの運営費用

	平成17年度	平成18年度
財源		
総予算額(万円)		
内訳： 職員の人件費		
事務所経費		
宣伝費		
講習会の開催費用		
その他の雑費		

(母子家庭の母を雇っている企業)

1. 母子家庭の母を正社員として雇っている企業をご存知でしたらご紹介して下さい。

企業名 _____

電話 _____

住所 _____

.....

ヒアリングシート（支援団体用）

記 入 日 _____年____月____日

調査回答者氏名 _____

調査回答者所属・肩書 _____

調査員氏名 _____

1. 貴団体を運営されているキーパーソンをご紹介ください。

名前（ ）； 性別（ 男・女 ）
年齢（ ）歳 ； 学歴（ ）卒
前職（ ）
主な経歴

2. 職業紹介に当たって、どのように求人情報を入手していますか。ハローワークとの連携方法も含めてご紹介ください。

3. プログラム策定員について

- ・ 常勤/非常勤別人数
- ・ 持っている資格、必要な資格
- ・ 職歴（支援にあたって役立っている知識や技能など）
- ・ 職務内容
- ・ 勤続年数
- ・ 研修など受けているか？
- ・ 必要な情報をどのように集めているか？
- ・ 連携をとっている、あるいは情報提供を受けている行政機関、部所など
- ・ 自立支援員を兼務しているか？
- ・ 兼務していない場合、自立支援員との連携をどのように行なっているか？

- 3 プログラム策定員に直接話が聞けるなら・・・
- ・ 現在担当している母親は何人？
 - ・ プログラムを策定する時に役立っている情報はどのようなものか？ どこから得ているか？
 - ・ プログラムを策定する時に意識していること、注意することは。
4. 貴団体は、独自の求人情報を持っていますか。あるとすれば、独自の求人はどうのように開拓されましたか。
5. 仮に、以下の三つのシナリオがあるとします。それぞれについて、貴団体は、どのようにサポートし、ジョブマッチングさせるのでしょうか。離婚後に落ち込んでいる母親を就職したいという気持ちまでモチベーションを高めるプロセスも合わせて教えてください。
- シナリオ1（就職）： 失業者 → 就職
シナリオ2（転職）： A社に就職中 → B社に転職
シナリオ3（常用転換）： A社のパート → A社の正社員
6. 正社員（常勤）就業を期待している母親は相談者の何割程度いますか。正社員就業を希望する場合には、貴団体はどのように援助していますか。一つか二つの具体的な事例を挙げてご説明ください。できましたら、家事・育児などの家庭生活の支援ありましたら、それも含めて説明してください。
7. 貴団体が母親の就職のために特に力を入れている事業等ありましたら教えてください
8. 貴団体の就業支援事業について、今後の方向性を教えてください。

（自治体やハローワークとの連携状況）

- 1 母子家庭等就業・自立支援センターなどと連携をとっていますか。「はい」の場合には、どのように連携をとっていますか。
- 2 母子家庭等自立支援プログラム策定員とは、連携をとっていますか。「はい」の場合には、どのように連携をとっていますか。
- 3 上記のような連携により、どのような成果をあげていましたか。

母子家庭の就業支援に関するヒアリング調査シート（ハローワーク用）

記 入 日 _____年____月____日

調査回答者氏名 _____

調査回答者所属・肩書 _____

調査員氏名 _____

（求人・求職状況）

1. 昨年1年間をみて、同じ条件の女性と比べ、母子家庭の母の就職状況はいかかなものでしょうか。（正社員採用の比率、就職率、失業率等について）

（職業紹介状況）

2. 「寡婦等職業相談員」が配置されていますか。「はい」の場合には、何人（常勤、非常勤別）が配置されていますか。
はい ⇒ 常勤（ ）人 非常勤（ ）人
いいえ
3. 相談に来られた母子家庭の母の中、正社員就業を望んでいる方は、大体何割程度いますか。正社員就業を望まれている場合に、通常どのように助言し、サポートしていますか。
4. 母子家庭の母に職業を紹介される際には、何が一番難しかったのですか。
5. 母子家庭の母のために、企業などを訪問したり、電話で求人を開拓したりしていますか。「はい」の場合には、どのくらい成果をあげていますか。
はい ⇒ 開拓件数（ ） 就職件数（ ）
いいえ
6. 就労支援コーディネーター、支援ナビゲーターを配置していますか。配置している場合、仕事の内容を教えてください。
7. 就労支援セミナーなどは行なっていますか？また、その具体的内容（資格取得を目指すなら資格名）も教えてください。

(他の母子家庭支援団体との連携状況)

8. 母子家庭等就業・自立支援センターなどと連携をとっていますか。「はい」の場合には、どのように連携をとっていますか。

9. 母子家庭等自立支援プログラム策定員とは、連携をとっていますか。「はい」の場合には、どのように連携をとっていますか。

10. 上記のような連携により、どのような成果をあげていましたか。

(母子家庭の母を雇っている企業)

母子家庭の母を正社員として雇っている企業をご存知でしたらご紹介して下さい。

企業名 _____
電話 _____
住所 _____

母子家庭の就業支援に関するヒアリング調査シート（企業用）

記 入 日 _____年____月____日

調査回答者氏名 _____

調査回答者所属・肩書 _____

調査員氏名 _____

（母子家庭の母の雇用状況）

1. 御社は、何人（ ）人の母子家庭の母を雇用していますか。（ ）人
そのうち、正社員として雇用しているのは、（ ）人ですか。

以下の状況も合わせて教えてください。

- * 母子家庭の母の就労している部署、仕事内容、労働時間
- * 給与
- * 社会保険の加入状況

2. 母子家庭の母を正社員として雇用する条件は何ですか。また、正社員転換制度がありますか。ある場合に、転換の条件は何ですか。
3. 母子家庭の母の平均勤続年数は何年ですか（人数が少ない場合に、それぞれについて）。他の従業員の平均勤続年数は何年ですか。
4. 母子家庭の母が働きやすいように職場環境や勤務時間などに工夫をされていますか。
（例えば、以下のような取り組み）
企業内託児所の設置、
休暇を取得しやすいような勤務体制（具体的に、 ）、
職場内の子供の休憩室の設置、
その他（具体的に、 ）
5. 母子家庭の母の雇用管理を他の従業員と区別して行なっていますか。「はい」の場合には、具体的ご説明してください。
（例えば、母子家庭の母のみに適用する労働時間体制や、賃金体制等を導入している）

6. 母子家庭の母を多く雇用している理由は何ですか。
 (例えば、以下のような理由)
 偶々母子家庭の母が多く応募してきた、
 口コミで多くの母子家庭の母が応募してきた、
 母子家庭の母を優先的に採用するという求人を出したから、
 母子家庭の母の勤務態度が良いから、
 母子家庭の母が資格を持っているから…
7. 今後も積極的に母子家庭の母を雇用していこうと思いますか。また、そう思う理由も教えてください。
8. 母子家庭の母の雇用管理上、困っていることがありますか。あるのであれば、具体的にどのようなところで困っていますか。

(制度の利用状況や行政との連携)

1. 就業支援メニューの認知度と利用状況についてあてはまるところに○をつけてください。

	知らない	知っているが 利用していない	利用している (いた)
常用雇用転換奨励金事業			
特定求職者雇用開発助成金			
トライアル雇用奨励金			

2. 母子家庭の母を雇用するに際し、ハローワークからどのような働きかけを受けましたか。
3. 母子家庭の母の雇用を維持・拡大するために、この後どのような行政サービスがあれば良いと思いますか。
 (例えば、以下のようなサービス)
 企業内託児施設に対する助成額の拡充、
 母子家庭問題に詳しい専門家の派遣や訪問…

(基礎データ)

御社の概況について伺います。

1. 現在の従業員数 () 人、
うち常勤職員 () 人
業種 ()
2. 創業時期 () 年
3. H18年度の売り上げ額 () 万円
資本金 () 万円
4. 労働組合の有無 有 無
いつ設立されましたか。 () 年 () 月
労働組合の加入率 約 () %

母子家庭の母への就業支援に関する調査

お願い

この度、あなた様のお勤めの会社からあなた様をご紹介いただきました。

この調査は、厚生労働省の要請を受けて、母子家庭のお母さん方の仕事の実態や要望などをうかがい、今後の母子家庭の方々への、仕事に対する支援策のあり方を検討するための基礎資料として独立行政法人労働政策研究・研修機構が独自に実施するものです。

この調査でお答えいただいた内容は、**あなた様のお名前などを消して、本人を特定できないような形で報告書としてまとめます。**ご回答いただいた調査票はあなた様が直接、添付の封筒でご返送下さい。**報告書の読者があなた様のお名前を特定したり、あなた様のお勤めの会社にあなた様の個人情報を知られることはありません。**

お忙しいところ、面倒なお願いでまことに恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。ご不明な点は下記にお問い合わせ下さい。

(独) 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

担当 周^{しゅう} 燕飛^{えんぴ} 電話 03-5991-5173 (直通) FAX 03-5991-5133
高田しのぶ 電話 03-5991-5839 (直通)

(記入上のご注意)

- この調査票は、母親ご本人がご回答ください。
- 質問に沿ってお答えください。
「その他」に○をつけた場合は()内に具体的に記入してください。
- 質問の中でお答えになりにくい所がありましたら、その部分は無記入でお出してください。
- 特段の指定がない限り、平成19年7月1日現在の状況についてご記入の上、同封の返信用封筒により 月 日までにご返送ください。

(本人と世帯属性)

1. あなたの現在の年齢はおいくつでしょうか? () 歳

2. あなたの最終学歴を教えてください。

1 中学校 2 高校 3 専門学校 4 短大 5 大学 6 その他 ()

3. お子さんについて教えてください。

全部で () 人、末子の年齢 () 歳

お子さんの健康状態はいかがでしょう。

1 元気 2 よく風邪を引く 3 持病 (アトピー、喘息など) がある
4 その他 ()

小学校入学前のお子さんと同居されている方にうかがいます。あなたが働いている間などの保育はどうなさっていますか。

1 自分 2 親・親族 3 認可保育園 4 認可外保育園 5 幼稚園
6 その他 () 7 働いていない

小学生以上のお子さんと同居されている方にうかがいます。あなたが働いている間などおこさんはどうなさっていることが多いですか。

1 自宅にいる 2 親・親族の家にいる 3 学童保育にいる
4 その他 ()

4. ご両親や親族の方と同居していますか。

1 はい 2 いいえ

5. 現在のお住まいはどちらですか。

1 親や親族の持家 2 自分の持家 3 公営住宅 4 民間賃貸住宅
5 母子生活支援施設 6 その他 ()

6. 母子家庭になった理由を教えてください。

1 離別 2 死別 3 未婚

7. 母子世帯になってからの期間はどれくらいですか？ () 年 () ヶ月

8. ご自身の現在の心身の健康はいかがでしょう。

1 通院中 2 通院は必要ないが体調が悪い 3 普通 4 意欲的
5 その他 (具体的に_____)

9. 元夫から養育費はもらっていますか。

1 あり (円/月) 2 過去にあり (円/月) 3 なし

10. 生活保護を受けています(した)か。保護開始年と保護受給金額も合わせて教えてください。

1 申請していないので受けていない
2 申請しようと思ったが、窓口でだめだと言われ断念した
3 受けている (た) ⇒ () 年から () まで、月額 () 円

11. 児童扶養手当は受けていますか。 受給開始年と受給金額も合わせて教えてください。

1 受給していない
2 満額受給している } () 年から、直近の一ヶ月の受給額は () 円
3 部分受給している

(就業状況)

1. 職種は何ですか。

1 専門職 2 管理職 3 事務 4 営業・販売 5 サービス業
6 製造 7 その他()

2. 現在の雇用形態を教えてください。

- | | | | | | |
|-------------|--------------------|------|--------------------|------|----------------------|
| 1 正社員 | ⇒ (1 を選んだ方は 2-1 へ) | | | | |
| 2 パート・アルバイト | 3 派遣 | 4 契約 | 5 嘱託 | 6 内職 | ⇒ (2～6 を選んだ方は 2-2 へ) |
| 7 自営 | 8 その他 (|) | ⇒ (7～8 を選んだ方は 3 へ) | | |

2-1 (正社員の方へ) 正社員になられた経緯を教えてください (○は一つだけ)。

- | | |
|----------------------|---|
| 1 離婚前から正社員だった | |
| 2 離婚後正社員として就職した | |
| 3 離婚後、非正社員を経て正社員となった | |
| 4 その他 (具体的に |) |

⇒3 へ

2-2 (正社員以外の方へ) 正社員になりたいと思いますか。

- | |
|--------------------------------|
| 1 今も将来も正社員になるつもりがない |
| 2 今は正社員になりたくないが、将来はいずれ正社員になりたい |
| 3 できればいますぐ正社員になりたい |

⇒3 へ

2-3 (今正社員になりたくない方へ) 正社員になりたくない主な理由は何ですか。主なものを 2つまで 選んでください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1 子供が小さいから | |
| 2 子供の健康状態が良くないから | |
| 3 離婚のショックからまだ立ち直っていないから | |
| 4 本人の健康状態が良くないから | |
| 5 正社員の仕事をやれる自信がないから | |
| 6 その他 (|) |

⇒3 へ

3. 残業時間や持ち帰ってする仕事を含めて週のだいたいの勤務時間を教えて下さい。

() 時間

4. あなたが就業している時間帯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。
(ごく稀な場合は除いてください)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 日中 (午前8時～午後6時以前) | 3 夜間 (午後6時～10時以前) |
| 2 早朝 (午前5時～8時以前) | 4 深夜 (午後10時～午前5時以前) |

5. 平成18年度勤務先からの税込み年収(税込み、賞与を含む)はどのくらいでしょうか?
()万円

6. 現在の仕事についての経路を教えてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 公共職業安定所・パートバンクの紹介 | 5 元配偶者の職場や知人などの紹介 |
| 2 母子相談員等福祉窓口の紹介 | 6 求人誌、新聞、チラシ等でみつけた |
| 3 親や親族などの紹介 | 7 その他 () |
| 4 友人、知人などの紹介 | |

7. 現在の仕事を選んだ主な理由は何ですか。主な理由を3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 身分が安定している | 9 簡単な仕事である |
| 2 厚生年金や雇用保険に入れる | 10 経験や能力が発揮できる |
| 3 十分な収入が得られる | 11 技術・技能を身につけられる |
| 4 労働時間が短い・残業が少ない | 12 在宅でできる |
| 5 通勤時間が短い | 13 知人などから紹介された |
| 6 土日に休める | 14 早く収入を得たかった |
| 7 就業時間の融通がきく | 15 その他 () |
| 8 休暇がとりやすい | |

8. 今の仕事を始めて何年ですか。 ()年 ()ヶ月

9. 今の仕事を探すときに困ったことや、これからの職探しについて行政にサポートして欲しい点などがございましたら、教えてください。

.....
.....

(就業支援の利用状況)

1. 母子家庭等就業・自立支援センター事業は利用したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 ある				
1 就業相談	2 就業支援講習会	3 就業情報提供	⇒ (1.1 へ)	
↳ 4 弁護士等の相談	5 その他 ()		
2 ない	⇒ (1.2 へ)			

- 1.1 (利用したことのある人は) 利用してみて、良かったところ、悪かったところを教えてください。

(⇒2 へ)

- 1.2 (利用したことのない人は) 利用しなかった理由を教えてください。

1 事業を知らない	2 必要ない	
3 その他()	

2. 自立支援教育訓練給付金事業を利用したことがありますか。

1 ある	⇒ (2.1 へ)
具体的内容 ()
2 ない	⇒ (2.2 へ)

2.1 (利用したことのある人は) 利用してみて、良かったところ、悪かったところを教えてください。

.....

.....

.....

.....

(⇒3 へ)

2.2 (利用したことのない人は) 利用しなかった理由を教えてください。

1 事業を知らない	2 必要ない
3 その他 ()

3. 高等技能訓練促進費事業を利用したことがありますか。

1 ある	取得した資格名 () ⇒ (3.1 へ)
2 ない	⇒ (3.2 へ)	

3.1 (利用したことのある人は) 利用してみて、良かったところ、悪かったところを教えてください。

.....

.....
.....
.....

(⇒4へ)

3.2 (利用したことのない人は) 利用しなかった理由を教えてください。

1 事業を知らない	2 必要ない
3 その他()

4. 母子自立支援プログラム策定事業を利用したことがありますか。

1 ある 具体的な内容 ()
	⇒ (4.1へ)
2 ない	⇒ (4.2へ)

4.1 (利用したことのある人は) 利用してみて、良かったところ、悪かったところを教えてください。

.....
.....
.....

(⇒5へ)

4.2 (利用したことのない人は) 利用しなかった理由を教えてください。

1 事業を知らない	2 必要ない
3 その他 ()

5. 仕事を続けていくうえで困っていることや、行政にサポートしてもらいたい点などがございましたら、教えてください。

.....

.....

.....

.....

6. 生活保護制度や児童扶養手当制度について、要望や意見がございましたら教えてください。

.....

.....

.....

お忙しいところありがとうございました。添付の封筒で返送してください。切手はいりません。

- ・調査にご協力された方にアンケート結果をお送りいたします。
- ・ご希望される方は、住所と氏名をご記入した上、きりとり線以下を下記のところへ送ってください。

送り先 FAX 番号 03-5991-5133 (労働政策研究・研修機構)

□ □ □ □ □ □ □ □	
都・道	区・市
府・県	町・村
様	

「母子家庭の母への就業支援に関する調査」

ご協力をお願い

この調査では、厚生労働省の要請を受けて、母子家庭のお母さん方の仕事の実態や要望などをうかがいます。今後の母子家庭の方々への、仕事に対する支援策のあり方を検討するための基礎資料として、独立行政法人労働政策研究・研修機構が実施いたしております。

この調査でお答えいただいたことは、コンピューターを使って統計数字としてまとめられ、皆様のお名前やご回答内容が漏れる等で、ご迷惑をおかけすることは決してございません。

お忙しいところ、ご面倒なお願いで誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(記入上の注意)

- この調査は、あて名のご本人がご回答ください。
- この調査は母子家庭を対象にしています。母子家庭でない方は、このページのみをご回答の上、調査票をご返送ください。
- ご回答は数字を記入するものと、回答の数字を○で1つまたは複数囲むものがあります。「その他」に○をつけた場合は()内に具体的に記入してください。
- 平成19年12月1日現在でご記入の上、同封の返信用封筒により**平成19年12月28日(金)まで**にご返送ください。
- 調査に協力してくださった方には、薄謝を進呈させていただきます。商品券希望葉書に必要事項をご記入の上、調査票とは別にご投函ください(薄謝は、平成20年1月中旬頃の発送予定でございます)。
- 調査についてのお問合せは下記にお願いします。

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

担当 周 燕飛(しゅう えんぴ)

月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

TEL 03-5991-5144(直通) FAX 03-5991-5133

E-mail shu@jil.go.jp

《質問》 あなたのご家庭は、母子家庭に該当しますか。

下欄の説明を参考にあてはまるものへ○をつけてください。

この調査で母子家庭とは、死別、離別、未婚などにより現に配偶者のいない女性が20歳未満の子どもを育てている世帯をいいます。

単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため一時的に配偶者と別居をしている場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も除かれます。

なお法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて手続きが進んでいる場合などは1に○をつけてください。

1 該当する

2 該当しない

☆ 次のページに進んで最後の質問までご回答ください。

☆ これで調査は終わりです。調査票は同封の返信用封筒でご返送ください。(切手は不要です)

[全員に] (仕事についてうかがいます)

問1 あなたは、現在収入をとまなう仕事をしていますか。

1 していない	2 している	→ 3ページ問5へ
---------	--------	-----------

問2 あなたは、今働きたいと思っていますか。1つだけ○をつけてください。

1 今すぐに働きたい	
2 そのうち働きたい	→ 問2-2へ
3 働くことができない	→ 問2-3へ

問2-1 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

1 仕事の探し方がわからないから	} → 3ページ問3へ
2 収入について条件の合う仕事がないから	
3 時間について条件の合う仕事がないから	
4 自分の年齢に合う仕事がないから	
5 知識・経験をいかせる仕事がないから	
6 就労中の子どもの保育の手だてがないから	
7 その他(具体的に:)	

[問2で、「2 そのうち働きたい」と答えた人に]

問2-2 どのような状況になれば、働きたいと思いますか。主なものを2つまで選んでください。

1 子どもの保育の手だてができれば	} → 3ページ問3へ
2 子どもが小学校に入学したら	
3 子どもの問題が解決したら(子どもの健康状態など)	
4 自分の問題が解決したら(健康状態、離婚調停など)	
5 職業訓練施設や学校での受講が修了したら	
6 就業に有利な資格や技能を身につけたら	
7 条件に合う仕事が見つかったら	
8 その他(具体的に:)	

[問2で、「3 働くことができない」と答えた人に]

問2-3 以下のような就職準備のための支援メニューのうち、受けてみたいものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 親子サロンでの会話	} → 6ページ問18へ
2 親子料理教室	
3 老人ホームなどのボランティア	
4 母子福祉団体が運営する喫茶店などでの就労体験	
5 求職活動の成功体験談に関する勉強会	
6 就職相談	
7 生活相談	
8 その他(具体的に:)	
9 受けないものは特になし	

【問2で、「1 今すぐに働きたい」「2 そのうち働きたい」と答えた人に】

問3 どのような就業形態で働きたいと考えていますか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 正社員・正規職員として働きたい |
| 2 パート・アルバイトなどの非正社員で働きたい |
| 3 自営業をやりたい（個人商店、個人レストラン、農家など） |
| 4 パソコン・専門スキルを使っての在宅勤務をしたい
（例：ウェブデザイン、システム開発、ネット販売、印刷、出版、翻訳、デザインなど） |
| 5 在宅で内職をしたい（部品の組立てなどの単純作業） |
| 6 その他（具体的に： _____） |

問4 仕事につく場合に重視することはどれですか。主なものを3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 身分が安定している | 8 休暇がとりやすい |
| 2 厚生年金や雇用保険に入れる | 9 簡単な仕事である |
| 3 十分な収入が得られる | 10 経験や能力が発揮できる |
| 4 残業が少ない | 11 技術・技能を身につけられる |
| 5 通勤時間が短い | 12 在宅でできる |
| 6 土日祝日に休める | 13 その他（具体的に： _____） |
| 7 就業時間の融通がきく | |

（ここまで回答された方は、6ページ問18に進んでください。）

【問1で、「2 している」と回答した人へ】（仕事をお持ちの方に、現在の仕事についてうかがいます）

問5 現在のお仕事の就業形態は、次のどれにあたりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください（以下、問16までは、ここでお答えいただいた仕事についてお答えください）。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 正社員・正規職員 | 6 自家営業の手伝い（家族従業者） |
| 2 パート・アルバイト | 7 パソコン・専門スキルを使っての在宅勤務 |
| 3 嘱託・契約社員 | 8 家庭で内職（部品の組立てなどの単純作業） |
| 4 人材派遣会社の派遣社員 | 9 その他（具体的に： _____） |
| 5 自営業主（商店主、農家など） | |

問5-1 【問5で、2～9と回答した人へ】

将来、正社員として働くことを考えていますか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 現在の勤務先で正社員への転換を図りたいと思う |
| 2 転職して正社員になりたいと思う |
| 3 とくに正社員になりたいと思わない |

問6 あなたの仕事や勤め先の事業は、次のどれにあたりますか。1つだけ○をつけてください。

（派遣社員や請負社員の方は、あなたを雇っている派遣会社や請負会社の事業をお答えください。）

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 農林漁業 | 9 飲食店、宿泊業 |
| 2 建設業 | 10 医療・福祉 |
| 3 製造業 | 11 教育、学習支援業 |
| 4 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12 複合サービス業（協同組合、郵便局） |
| 5 情報通信業 | 13 その他サービス業（協同組合、郵便局以外の） |
| 6 運輸業 | 14 公務 |
| 7 卸売・小売業 | 15 その他（具体的に： _____） |
| 8 金融・保険・不動産業 | |

問7 現在の仕事の職種は、次のどれにあたりますか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 専門・技術的職業（医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど） |
| 2 管理的な仕事（企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など） |
| 3 事務的な仕事（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など） |
| 4 営業・販売の仕事（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど） |
| 5 技能工・生産工程に関わる職業
（製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など） |
| 6 運輸・通信の仕事（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など） |
| 7 保安的職業（警察官、消防士、自衛官、警備員など） |
| 8 農林漁業に関わる職業 |
| 9 サービスの職業（理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど） |
| 10 その他（具体的に： _____） |

問7-1 さしつかえなければ、その仕事の内容を具体的にお書きください。
（例：中学校で国語を教えている。工場で部品の組立てをしている。）

--

問8 勤務先の従業員（パート・アルバイトなどを含む）は、会社全体で何人くらいですか。1つだけ○をつけてください（派遣社員や請負社員の方は、あなたを雇っている派遣会社や請負会社の企業規模をお答えください）。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 1人 | 7 300～500人未満 |
| 2 2～5人未満 | 8 500～1000人未満 |
| 3 5～10人未満 | 9 1000人以上 |
| 4 10～30人未満 | 10 官公庁 |
| 5 30～100人未満 | 11 わからない |
| 6 100～300人未満 | |

問9 残業時間を含めて1週間当たりの平均就業時間数は、何時間くらいですか。
（30分以上は切り上げてください。）

	時間
--	----

問9-1 あなたの就業時間は、だいたい規則的ですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1 規則的 | 2 不規則 |
|-------|-------|

問9-2 あなたが就業している時間帯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。
（ごくまれな場合は除いてください。）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 日中（午前8時～午後6時以前） | 3 夜間（午後6時～10時以前） |
| 2 早朝（午前5時～8時以前） | 4 深夜（午後10時～午前5時以前） |

問10 職場までの片道通勤時間は、どれくらいですか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 0分（在宅） | 4 30～45分未満 | 7 75～90分未満 |
| 2 15分未満 | 5 45～60分未満 | 8 90分以上 |
| 3 15～30分未満 | 6 60～75分未満 | |

問11 平成18年度において、その仕事からの年収（税込み、賞与分を含む）は、いくらくらいですか。自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。

--	--	--	--	--

 万円

問12 今の仕事を始めた（勤め始めた）のは、いつでしたか。
（子育てなどでいったん退職したが、同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。）

1 昭和 年 月
2 平成 年 月

問13 今の仕事について、これからも働き続けたいと考えていますか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--|--------|
| 1 継続したい | → 問14へ |
| 2 よい仕事があれば転職したい | |
| 3 その他（具体的に： <input style="width: 100px;" type="text"/> ） | → 問14へ |

問13-1 どのような仕事に転職したいですか。重視するものを3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|---|
| 1 身分が安定している | 8 休暇がとりやすい |
| 2 厚生年金や雇用保険に入れる | 9 簡単な仕事である |
| 3 十分な収入が得られる | 10 経験や能力が発揮できる |
| 4 労働時間が短い・残業が少ない | 11 技術・技能を身につけられる |
| 5 通勤時間が短い | 12 在宅でできる |
| 6 土日祝日に休める | 13 その他（具体的に： <input style="width: 100px;" type="text"/> ） |
| 7 就業時間に融通がきく | |

問14 母子家庭になってから、転職（自営業に就いた場合なども含みます）したことはありますか。

1 ある	→	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	回	2 なし
------	---	---	---	------

問15 全体として、現在の仕事に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|------|----------|---------|-------|
| 1 満足 | 2 まあまあ満足 | 3 やや不満足 | 4 不満足 |
|------|----------|---------|-------|

問16 あなたは、これまでうかがった主な仕事のほかにも別の仕事（副業）を持っていますか。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1 副業を持っている | 2 副業を持っていない | → 6ページ問18へ |
|------------|-------------|------------|

問16-1 さしつかえなければ、その副業の内容を具体的にお書きください。
（例：自宅でパソコン入力の仕事をしている。夜のファミリーレストランでアルバイトをしている）

問17 平成18年度は、副業のために1週間あたり何時間くらい働きましたか（複数の副業を持っている場合は合計値、30分以上は切り上げてください）。

週あたり平均 時間

問17-1 平成18年度に、副業から得られた収入（税込み）はいくらくらいですか（自営の場合は売上高などから必要経費を除いてください）。

万円

【全員に】（母子家庭になる前後の状況についてうかがいます）

問18 母子家庭になる直前のあなたの働き方は、次のどれにもっとも近かったですか。
1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 最終学校を卒業し、結婚・出産後も最初に就職した仕事をずっと続けていた |
| 2 | 転職経験はあるが、結婚・出産後も、仕事はおおむね続けていた |
| 3 | 結婚、出産などで退職したものの、再び働いていた |
| 4 | 結婚、出産などで退職していた |
| 5 | 就業経験はなかった |
| 6 | その他（具体的に： <input type="text"/> ） |

→ 7ページ問19へ

問18-1 そのときについていた主な仕事の就業形態は、次のどれにあてはまりますか。
1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------------------------|
| 1 | 正社員・正規職員 | 6 | 自家営業の手伝い（家族従業者） |
| 2 | パート・アルバイト | 7 | パソコン・専門スキルを使っての在宅勤務 |
| 3 | 嘱託・契約社員 | 8 | 家庭で内職（部品の組立てなどの単純作業） |
| 4 | 人材派遣会社の派遣社員 | 9 | その他（具体的に： <input type="text"/> ） |
| 5 | 自営業主（商店主、農家など） | | |

問 19 母子家庭になる前後で、仕事上の変化がありましたか。
もっとも重要なものに**1つだけ**○をつけてください。

1	そのままその仕事を続けた	}	→ 8ページ問 20へ
2	仕事をやめ、無職になった		
3	そのまま無職を続けた		
4	転職した	}	→ 8ページ問 20へ
5	新規に仕事についた		
6	仕事を追加した		
7	その他 (具体的に: _____)		

問19-1 新しくついた仕事の就業形態は、次のどれにあてはまりますか。**1つだけ**○をつけてください。

1	正社員・正規職員	6	自家営業の手伝い (家族従業者)
2	パート・アルバイト	7	パソコン・専門スキルを使っての在宅勤務
3	嘱託・契約社員	8	家庭で内職 (部品の組立てなどの単純作業)
4	人材派遣会社の派遣社員	9	その他 (具体的に: _____)
5	自営業主 (商店主、農家など)		

問 19-2 その仕事についた経路は、どのようなものですか。**1つだけ**○をつけてください。

1	公共職業安定所・パートバンクの紹介	5	友人、知人などの紹介
2	母子自立プログラム策定員の紹介	6	求人誌、新聞、チラシなどでみつけた
3	母子家庭等就業・自立支援センターの紹介	7	その他 (具体的に: _____)
4	親や親族などの紹介		

問 19-3 その仕事を選んだ理由は何ですか。主な理由を**3つまで**選んでください。

1	身分が安定している	9	簡単な仕事である
2	厚生年金や雇用保険に入れる	10	経験や能力が発揮できる
3	十分な収入が得られる	11	技術・技能を身につけられる
4	労働時間が短い・残業が少ない	12	在宅でできる
5	通勤時間が短い	13	職場環境が良い
6	土日祝日に休める	14	仕事の内容が面白い
7	就業時間に融通がきく	15	その他 (具体的に: _____)
8	休暇がとりやすい		

問 19-4 その仕事を探しているときに、どのような問題がありましたか。
あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

1	どこに相談すればいいのかわからなかった	7	職業経験が少なかった
2	気軽に利用できる相談先、情報入手先がなかった	8	子どもが小さいことが問題にされた
3	求職中の子どもの保育の手だてがなかった	9	母子家庭であることが問題にされた
4	求人自体が少なかった	10	その他 (具体的に: _____)
5	年齢制限があった	11	特に問題はなかった
6	資格・技能が合わなかった		

問 19-5 その仕事が決まるまで、どれくらいかかりましたか (15 日以上は切り上げてください)。

) か月
--	--	--	------

[全員に] (資格や技能についてうかがいます)

問 20 母子家庭になった前後に、資格や技能の習得など仕事に向けて準備をしましたか。
1つだけ○をつけてください。

1 準備した	3 準備の余裕がなかった
2 特に準備の必要はなかった	4 その他(具体的に:)

問 21 現在、下記のような資格を持っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
また、お持ちの資格の等級も()内にお書きください。
下記以外の資格をお持ちの場合には、()内に具体的な名称と等級を書いてください。

1 看護師	6 調理師	11 パソコン()級
2 准看護師	7 栄養士	12 簿記()級
3 保育士	8 理・美容師	13 普通自動車免許
4 幼稚園教諭	9 介護福祉士	14 その他(具体的に:)
5 教員	10 ホームヘルパー()級	15 資格は持っていない → 9ページ問 22へ

問 21-1 問 21 で記載した資格のうち、仕事に役立っている(た)ものの番号を、下記の空欄にご記入ください。何もない場合は、「88」を記入してください。複数ある場合には、役立っている(た)番号を左から順にご記入ください。

--

問 21-2 問 21 で記載した資格のうち、母子家庭になってから取得された資格すべての番号を、下記の空欄にご記入ください。何もない場合は、「88」を記入してください。
(母子家庭になってから取得された資格がない方は、9ページ問 22に進んでください)

--

(母子家庭になってから取得された資格についてうかがいます)

問 21-3 上記の資格は、主にどのような方法(○は1つだけ)で取得しましたか。複数の資格を持っている場合は、もっとも「仕事に役立っている」資格について記入してください。

1 職業訓練校など公共職業訓練施設に通った	5 専修学校、各種学校に通った
2 母子福祉団体の主催する技能講習会に通った	6 通信教育を受けた
3 ハローワークの主催する技能講習会に通った	7 民間会社の主催する技能講習会に通った
4 自治体主催の技能講習会に通った	8 その他(具体的に:)

問 21-4 上記の資格を取得するための費用は、どのようにまかさないましたか(○はいくつでも)。
もっとも主要なまかさない方法について、◎で囲んでください(複数の資格を持っている場合は、もっとも「仕事に役立っている」資格について記入してください)。

1 自分の貯金や収入	5 自立支援教育訓練給付金
2 親や親族の援助	6 母子福祉資金貸付金
3 雇用保険の教育訓練給付金	7 その他(具体的に:)
4 高等技能訓練促進費	

問 22 現在、資格や技能の習得など職業能力向上のために実施されていることはありますか。

1 ある	2 希望はあるが実施できない	3 ない → 問23へ
------	----------------	-------------

問 22-1 実施されていることを具体的にお書きください。

問 22-2 実施できない理由は、どれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 仕事が忙しい

2 子育てや家事が忙しい

3 受講時の子どもの保育の手だてがない

4 近くに適当な施設や学校がない

5 どのような方法があるかわからない

6 費用が負担できない

7 その他（具体的に： _____）

[全員に] 問 23 あなたはパソコンを使っていますか。1つだけ○をつけてください。

1 ほとんど毎日使う 2 週1、2回程度使う 3 たまに使う	4 過去は使っていたが、現在はほとんど使っていない 5 パソコンを使ったことがない → 問 23-2 へ
--------------------------------------	---

問 23-1 [問 23 で、1～4 と答えた人に] 以下のような (a) パソコン操作の習熟度、(b) 仕事上使用することの有無、について教えてください。(回答後は10ページ問24へ)

操作の内容	(a) パソコン操作の習熟度				(b) 仕事上使用することの有無
	できない	少し聞けばできる	ほとんど一人でできる	人に教えることができる	
1 メールのやり取り	1	2	3	4	1 有 2 無
2 情報の検索	1	2	3	4	1 有 2 無
3 ブログやホームページの作成	1	2	3	4	1 有 2 無
4 表計算 (Excel 等)	1	2	3	4	1 有 2 無
5 文書作成 (Word 等)	1	2	3	4	1 有 2 無
6 コンピュータ・グラフィック	1	2	3	4	1 有 2 無
7 データの管理・運営	1	2	3	4	1 有 2 無
8 プログラミング	1	2	3	4	1 有 2 無
9 会計、簿記ソフト	1	2	3	4	1 有 2 無
10 統計分析ソフト	1	2	3	4	1 有 2 無

問 23-2 [問 23 で、「5 パソコンを使ったことがない」と答えた人に]

問 23-1 のパソコン操作のうち、今後、使えるようになりたいものがありますか。ある場合には、その番号 (1～10) をいくつでもご記入ください。

1 ある (番号： _____)	2 ない → 10 ページ問 24 へ
------------------	---------------------

問 23-3 それはどのような目的のためですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 現在の仕事のため

2 在宅で仕事をするため

3 転職や再就職のため

4 趣味や教養のため

5 その他（具体的に： _____）

【全員に】（生活についてうかがいます）

問24 あなたは、現在の暮らしについて総合的にみてどのように感じていますか。1つだけ○をつけてください。

1 苦しい	2 やや苦しい	3 普通	4 ややゆとりがある	5 ゆとりがある
-------	---------	------	------------	----------

問25 あなたの現在の健康状態はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

1 よい	2 まあよい	3 普通	4 あまりよくない	5 よくない
------	--------	------	-----------	--------

問26 あなたは、雇用保険や社会保険に加入していますか。それぞれ1つだけ○をつけてください。

(1) 雇用保険 →

1 加入している	2 加入していない	3 わからない
----------	-----------	---------

(2) 医療保険 →

1 職場で健康保険、共済組合（給与から天引き）などに加入
2 国民健康保険（市町村に保険料を納付）に加入
3 保険料未納・未加入
4 わからない

(3) 公的年金 →

1 職場で厚生年金、共済組合等（給与から天引き）に加入
2 国民年金（社会保険事務所に保険料を納付）に加入
3 保険料未納・未加入
4 わからない

問27 母子家庭のための児童扶養手当を受給していますか。1つだけ○をつけてください。

1 全額受給	□ →	() 年から受給開始、 受給対象となるお子さん () 人、 現在の月額 () 円
2 一部受給		
3 以前受給していたが収入要件ではずれた		
4 以前受給していたが子どもの年齢要件ではずれた		
5 受給したことがない		
6 その他（具体的に： _____)		

問28 平成18年度におけるあなたの世帯全体の収入総額（税込み）は、いくらくらいですか。

□ □ □ □	万円（※税込み、賞与含む）
---------	---------------

問28-1 世帯収入のうち、子の父からの養育費は、いくらくらいですか。まったくない場合は0と記入してください。

□ □ □ □	万円
---------	----

問 29 仮にあなたが、今失業中だとして、新しくフルタイムの仕事を探す場合、どのくらいの年収が保証される仕事を探しますか。これ以下の収入では就職しないという最低レベルの金額でお答えください。

--	--	--	--

万円 (※税込み、賞与含む)

問 30 平成 18 年度におけるあなたの世帯の月平均家計費総額は、いくらくらいですか。

--	--	--	--

千円

問 30-1 家計費のうち、子供のためにかかった費用は、月平均でいくらくらいですか。

注) 子供のためにかかった被服代、食費、塾代、通学費用、学校での教材費、保育料、幼稚園、月謝、医療費、娯楽費などを含み、学資保険などを除く。

--	--	--	--

千円

問 31 母子家庭になってから、ご両親や親族から何らかの世話や援助を受けたことがありますか。

1 しばしば受けている	2 たまに受けている	3 受けたことがない	→ 問32へ
-------------	------------	------------	--------

問 31-1 それはどのような援助ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 生活費の援助	5 子どもが病気のときの世話
2 子どもの養育費・教育費の援助	6 日常の家事援助
3 住宅についての援助	7 その他 (具体的に: _____)
4 日常の子どもの世話	

[全員に]

問 32 母子家庭の方のよりよい就職や仕事の問題解決のため、どのような支援策がほしいと思いますか。主なものを3つまで選んでください。

1 身近なところで技能講習、職業訓練などを受講する機会がふえること	
2 訓練受講などに経済的援助が受けられること	
3 訓練などが受講しやすくなること (実施日、時間帯など)	
4 仕事をさがしたり、受講、通学時などに一時的に子どもを預かってもらうこと	
5 相談が1カ所で受けられること	
6 就職のための支援策などの情報が得られること	
7 自分で事業を起こす場合に相談や援助が得られること	
8 保育所が整備されること	
9 延長保育、休日保育が充実すること	
10 学童保育が充実すること	
11 その他 (具体的に: _____)	

[全員に] (公的就業支援の認知度および利用状況についておうかがいします。)

問 33 母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがありますか。利用したことのある方は、利用開始年度を、利用したことのない方は、利用しなかった理由を教えてください。

- | | |
|--|--------------|
| 1 ある ⇒ いつからご利用になりましたか。
1 平成 15 年度 2 平成 16 年度 3 平成 17 年度 4 平成 18 年度 5 平成 19 年度 | } → 問 33-2 へ |
| 2 ない ⇒ 利用しなかった理由を教えてください。
1 事業を知らなかったから 3 必要なかったから
2 身近なところがないから 4 その他(具体的に:) | |

問 33-1 今まで利用されたことがある母子家庭等就業・自立支援センターの支援内容を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------|-------------|---------------|
| 1 就業相談 | 2 就業支援講習会 | 3 就業情報提供 |
| 4 生活相談 | 5 弁護士らの法律相談 | 6 その他(具体的に:) |

問 33-2 下記の3つの公的就業支援メニューについて、(ア)利用したことがあるかどうか、をおうかがいします。当てはまる番号に○をつけてください。利用されなかった方は、(イ)利用しなかった理由、利用された方は、(ウ)利用後の感想を、それぞれ教えてください。

	(ア)利用の有無	(イ)利用しなかった理由	(ウ)利用後の感想
① 自立支援教育 訓練給付金事業	1 有 ⇒(ウ)へ 2 無 ⇒(イ)へ	1 事業を知らない 2 必要なかった 3 申請したが、利用できなかった 4 その他(具体的に:)	1 とても役に立った 2 少し役に立った 3 ほとんど役に立たなかった 4 まったく役に立たなかった
② 高等技能訓練 促進費事業	1 有 ⇒(ウ)へ 2 無 ⇒(イ)へ	1 事業を知らない 2 必要なかった 3 申請したが、利用できなかった 4 その他(具体的に:)	1 とても役に立った 2 少し役に立った 3 ほとんど役に立たなかった 4 まったく役に立たなかった
③ 母子自立支援 プログラム 策定事業	1 有 ⇒(ウ)へ 2 無 ⇒(イ)へ	1 事業を知らない 2 必要なかった 3 申請したが、利用できなかった 4 その他(具体的に:)	1 とても役に立った 2 少し役に立った 3 ほとんど役に立たなかった 4 まったく役に立たなかった

注) 上記の3事業に関する説明は下記の通りです。

- ①自立支援教育訓練給付金事業 : 雇用保険の教育訓練給付の受給資格のない母子家庭の母が教育訓練講座を受講し、修了した場合に、その経費の一部が支給される事業。
- ②高等技能訓練促進費事業 : 看護師、介護福祉士、保育士等の養成機関で2年以上修業した場合に、その費用の一部が支給される事業。
- ③母子自立支援プログラム策定事業 : 母子自立支援プログラム策定員(市役所などに配置)が児童扶養手当を受給している母等に対し、個別のケースに応じて自立支援プログラムを策定する事業。

問 33-3 母子家庭の母を対象とする4事業（母子家庭等就業・自立支援センターの事業、自立支援訓練給付金制度、高等技能訓練促進費事業、母子自立支援プログラム策定事業）について、利用しにくい点や、今後改善してほしい点がございましたら、教えてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【全員に】（あなたとお子さんについてうかがいます）

問34 あなたの現在の年齢を教えてください。 満 歳

問35 母子家庭になったときのあなたの年齢は、何歳でしたか。 満 歳

問 36 母子家庭となった理由は、次のうちどれですか。 **1つだけ**○をつけてください。
（離婚は離婚届届出済み（事実婚解消を含む）、別居は離婚係争中など届出前をいいます。）

- | | | |
|------|------------------------------------|------------------|
| 1 死別 | 4 未婚・非婚 | } → 14 ページ問 37 へ |
| 2 離婚 | 5 その他（具体的に： <input type="text"/>) | |
| 3 別居 | | |

問 36-1 その相手の方と結婚したときのあなたの年齢は何歳でしたか。 満 歳

【問 36 で、「2 離婚」「3 別居」と答えた人に】

問 36-2 離婚・別居時に、その相手の方の年収はどのくらいありましたか。

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------|
| 1 100万円未満 | 4 300～400万円未満 | 7 600～800万円未満 | 10 わからない |
| 2 100～200万円未満 | 5 400～500万円未満 | 8 800～1000万円未満 | |
| 3 200～300万円未満 | 6 500～600万円未満 | 9 1000万円以上 | |

問 37 あなたの世帯（住居と生計をともにしている人々）は、あなたも含めて何人ですか。

<div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 80%;"></div>	人
--	---

問 37-1 住居と生計をともにしている世帯員の構成をおうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。もっとも収入の多い人は、◎で囲んでください。

1 ご本人	4 孫	7 友人・知人
2 未婚の子供	5 親	8 その他（具体的に： _____）
3 既婚の子供	6 兄弟・親族	

問 38 あなたのお子さんは、全部で何人ですか。

<div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 80%;"></div>	人	⇒	{	一番年上の子の年齢は _____ 歳 一番年下の子の年齢は _____ 歳
--	---	---	---	--

問 38-1 お子さんの健康状態はいかがでしょう。1つだけ○をつけてください（2人以上いる場合には、20歳未満で健康状態がもっとも心配されているお子さんについてお答えください）。

1 元気		
2 よく小さな病気をするが、おおむね元気		
3 軽い持病を持っている（病名： _____）		
4 通院または入院する必要がある重病・難病を持っている（病名： _____）		

（小学校入学前のお子さんと同居されている方におうかがいします）

問 38-2 平日の日中に、お子さんの保育をしているのはどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください

1 自分	5 友人・知人（無償）	9 ベビーシッター
2 親・親族	6 認可保育所	10 その他（具体的に： _____）
3 年長のお子さん	7 無認可保育所	
4 友人・知人（有償）	8 幼稚園	

【全員に】

問 39 最後に卒業された学校はどちらですか。1つだけ○をつけてください。

1 中学校	4 短期大学・高等専門学校	7 その他（具体的に： _____）
2 高等学校	5 大学	
3 専修学校・各種学校	6 大学院	

問 40 最終学校を卒業したのは、いつでしたか。

- 1 昭和
2 平成

	年		月
--	---	--	---

問 40-1 最終学歴の学校を卒業して、最初に働いたときの就業状態は次のどれに当てはまりますか。
1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 正社員・正規職員 | 6 自家営業の手伝い（家族従業者） |
| 2 パート・アルバイト | 7 パソコン・専門スキルを使っての在宅勤務 |
| 3 嘱託・契約社員 | 8 家庭で内職（部品の組立てなどの単純作業） |
| 4 人材派遣会社の派遣社員 | 9 その他（具体的に： _____） |
| 5 自営業主（商店主、農家など） | |

問 41 現在のお住まいはどちらですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 持ち家 | 5 社宅・寮などの給与住宅 |
| 2 親・親族の持ち家 | 6 母子生活支援施設等の社会福祉施設 |
| 3 公営賃貸住宅 | 7 その他（具体的に： _____） |
| 4 民間賃貸住宅 | |

問 42 再婚（結婚）について、どのようなお考えを持っているでしょうか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 できれば早く再婚（結婚）したい | 3 再婚（結婚）したくない |
| 2 急ぐ気持ちはないが、いずれは再婚（結婚）したい | 4 どちらともいえない |

問 43 あなたが今仕事を続けていく上で困っていることや、行政、企業、社会に期待したい就業支援などを教えてください。書ききれない場合には裏面にもお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

お忙しいところ、調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。ご回答が終わりました調査票は同封の返信用封筒で返送してください。切手は不要です。

なお、薄謝をご希望の方は、大変お手数ですが個人の特定を防止するために、商品券希望葉書を別途ポストへ投函してください。

添付資料3 単純集計結果表

調査名 「母子家庭の母への就業支援に関する調査」(2007年12月～2008年1月実施)

調査対象の地域分布

	地域 総数	静岡県	釧路市	秋田県	貝塚市	大分県	横浜市	千葉市	大阪府	熊本県	長野県
総数	1,311	109	13	91	146	42	66	106	135	31	31
(%)	100	8.31	0.99	6.94	11.14	3.2	5.03	8.09	10.3	2.36	2.36
	地域	奈良県	仙台市	宮城県	北九州市	長崎県	福岡県	群馬県	埼玉県	神奈川	東京都
総数		33	21	17	98	39	55	102	49	67	60
(%)		2.52	1.6	1.3	7.48	2.97	4.2	7.78	3.74	5.11	4.58

問1 就業状況

	総数	していない	している	無回答
総数	1,311	172	1,138	1
(%)	100	13.12	86.8	0.08

問2 就業意向

	該当者数	今すぐに働きたい	そのうち働きたい	働くことができない	無回答
総数	172	106	40	24	2
(%)	100	61.63	23.26	13.95	1.16

問2-1 働いていない理由(複数回答)

	該当者数	仕事の探し方がわからないから	収入について条件がなから	時間について条件がなから	自分の年齢に合う仕事がないから	知識・経験をいかせる仕事がないから	就労中の子どもの保育の手だてがないから	その他	無回答
総数	106	8	31	48	28	17	11	41	0
(%)	100	7.55	29.25	45.28	26.42	16.04	10.38	38.68	0

問2-2 就業が可能になる状況(複数回答)

	該当者数	子どもの保育の手だてがきたら	子どもが小学校に入ったら	子どもの問題が解決したら(子どもの健康状態など)	自分の問題が解決したら(健康状態、離婚調停など)	職業訓練施設や学校での受講が修了したら	就業に有利な資格や技能を身につけたら	条件に合う仕事が見つかったら	その他	無回答
総数	40	9	0	6	15	4	6	16	3	1
(%)	100	22.5	2.5	15	37.5	10	15	40	7.5	2.5

問 2-3 就職準備の支援メニューで受けてみたいもの（複数回答）

	該当者数	親子サロンでの会話	親子料理教室	老人ホームなどのボランティア	母子福祉団体が運営する喫茶店などの就労体験	求職活動の成功体験に関する勉強会	就職相談	生活相談	その他	受けたものは特にない	無回答
総数	24	0	3	5	8	1	6	5	5	4	0
(%)	100	100	12.5	20.83	33.33	4.17	25	20.83	20.83	16.67	0

問 3 希望する就業形態

	該当者数	正社員・正規職員として働きたい	パート・アルバイトなどの非正社員で働きたい	自営業をやりたい	パソコン・専門スキルを駆使する在宅勤務をしたい	在宅で内職をしたい	その他	無回答
総数	146	98	32	0	10	1	3	2
(%)	100	67.12	21.92	0	6.85	0.68	2.05	1.37

問 4 就業時の重視点（複数回答）

	該当者数	身分が安定している	厚生年金や雇用保険に入る	十分な収入が得られる	残業が少ない	通勤時間が短い	土日祝日に休める
総数	146	27	67	61	36	43	74
(%)	100	18.49	45.89	41.78	24.66	29.45	50.68

	就業時間の融通がきく	休暇がとりやすい	簡単な仕事である	経験や能力が発揮できる	技術・技能を身につけられる	在宅でできる	その他	無回答
総数	42	35	5	28	5	4	2	2
(%)	28.77	23.97	3.42	19.18	3.42	2.74	1.37	1.37

問 5 就業形態

	該当者数	正社員・正規職員	パート・アルバイト	嘱託・契約社員	人材派遣会社の派遣社員	自営業主（商店主、農家など）	自家営業の手伝い（家族従業員）	パソコン・専門スキルを駆使する在宅勤務	家庭で内職（部品の組立てなどの単純作業）	その他	無回答
総数	1,138	352	478	145	100	10	5	3	3	33	9
(%)	100	30.93	42	12.74	8.79	0.88	0.44	0.26	0.26	2.9	0.79

問 5-1 将来の正社員化への意向

	該当者数	現在の勤務先で正社員への転換を図りたいと思う	転職して正社員になりたいと思う	とくに正社員になりたいと思わない	無回答
総数	778	201	443	125	9
(%)	100	25.84	56.94	16.07	1.16

問 6 就業先の業種

	該当者数	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業		
総数	1,138	2	32	150	16	31	29	123		
(%)	100	0.18	2.81	13.18	1.41	2.72	2.55	10.81		
		金融・保険・不動産業	飲食・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	複合サービス業	その他サービス業	公務	その他	無回答
		94	49	264	44	18	88	64	121	13
		8.26	4.31	23.2	3.87	1.58	7.73	5.62	10.63	1.14

問 7 職種

	該当者数	専門・技術的職業	管理的な仕事	事務的な仕事	営業・販売の仕事	技能工・生産工程に関わる職業	運輸・通信の仕事	保安的職業	農林漁業に関わる職業	サービスの職業	その他	無回答
総数	1,138	128	4	461	123	83	17	1	0	182	128	11
(%)	100	11.25	0.35	40.51	10.81	7.29	1.49	0.09	0	15.99	11.25	0.97

問 7-1 仕事の内容

	該当者数	回答あり	回答なし
総数	1,138	999	139
(%)	100	87.79	12.21

問 8 勤務先の従業員数

	該当者数	1人	2~5人未満	5~10人未満	10~30人未満	30~100人未満	100~300人未満	300~500人未満	500~1000人未満	1000人以上	官公庁	わからない	無回答
総数	1,138	15	78	97	201	231	141	61	58	109	42	91	14
(%)	100	1.32	6.85	8.52	17.66	20.3	12.39	5.36	5.1	9.58	3.69	8	1.23

問 9 1週間当たりの平均就業時間数

	該当者数	20時間未満	20~29時間	30~39時間	40時間	41-45時間	46時間以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,138	93	100	266	240	166	189	84	37.39	12.51
(%)	100	8.17	8.79	23.37	21.09	14.59	16.61	7.38		

問 9-1 就業時間の不規則性

	該当者数	規則的	不規則	無回答
総数	1138	918	212	8
(%)	100	80.67	18.63	0.7

問 9-2 就業時間帯（複数回答）

	該当者数	早朝 (午前 5時～ 午前8 時以 前)	日中 (午 前8時～ 午後6時 以前)	夜間 (午 後6時～ 午後10 時以前)	深夜 (午 後10時 ～午前5 時以前)	無回答
総数	1,138	90	1,112	210	77	6
(%)	100	7.91	97.72	18.45	6.77	0.53

問 10 職場までの片道通勤時間

	該当者数	0分 (在宅)	15分 未満	15～3 0分未満	30～4 5分未満	45～6 0分未満	60～7 5分未満	75～ 90分 未満	90分 以上	無回答
総数	1,138	22	345	381	227	115	27	10	6	5
(%)	100	1.93	30.32	33.48	19.95	10.11	2.37	0.88	0.53	0.44

問 11 年収

	該当者数	100 万円未 満	100 ～19 9万円	200～ 299万 円	300～ 399万 円	400～ 499万 円	500 ～59 9万円	60 0万円 以上	無回答	平均値	標準偏 差
総数	1,138	125	456	239	56	18	4	9	231	180.02	105.11
(%)	100	10.98	40.07	21	4.92	1.58	0.35	0.79	20.3		

問 12 仕事を始めた時期

	該当者数	昭和	平成元 年～5 年	平成6年 ～10年	平成11 年～15 年	平成16 年	平成17 年	平成18 年	平成19 年以降	平成年 不明	無回答
総数	1,138	12	16	47	147	52	150	293	411	2	8
(%)	100	1.05	1.41	4	12.92	4.57	13.18	25.75	36.12	0.18	0.7

問 13 仕事の継続意向

	該当者数	継続し たい	よい仕事 があれば 転職 したい	その他	無回答
総数	1138	460	627	42	9
(%)	100	40.42	55.1	3.69	0.79

問 13-1 転職の際の重視点（複数回答）

	該当者数	身分が安定している	厚生年金や雇用保険に入る	十分な収入が得られる	労働時間が短い・残業が少ない	通勤時間が短い	土日祝日に休める
総数	627	456	168	303	472	44	75
(%)	100	72.73	26.79	48.33	75.28	7.02	11.96

	就業時間に融通がきく	休暇がとりやすい	簡単な仕事である	経験や能力が発揮できる	技術・技能を身につけられる	在宅でできる	その他	無回答
総数	265	62	133	28	99	81	11	34
(%)	42.26	9.89	21.21	4.47	15.79	12.92	1.75	5.42

問 14 母子家庭になってからの転職経験

	該当者数	なし	ある	1回	2～3回	4～5回	6～7回	8～9回	10回以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1138	329	803	266	346	127	27	3	11	23	2.53	1.73
(%)	100	28.91	70.56	33.13	43.09	15.82	3.36	0.37	1.37	2.86		

問 15 仕事の満足度

	該当者数	満足	まあまあ満足	やや不満足	不満足	無回答
総数	1138	119	536	310	168	5
(%)	100	10.46	47.1	27.24	14.76	0.44

問 16 副業の有無

	該当者数	副業を持っている	副業を持っていない	無回答
総数	1138	148	978	12
(%)	100	13.01	85.94	1.05

問 16-1 副業の内容

	該当者数	回答あり	回答なし
総数	148	142	6
(%)	100	95.95	4.05

問 17 副業の1週間あたり就労時間

	該当者数	～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21時間以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	148	33	43	15	19	11	27	10.87	8.13
(%)	100	22.3	29.05	10.14	12.84	7.43	18.24		

問 17-1 副業から得た収入

	該当者数	20万円未満	20万～49万円	50万～79万円	80万～99万円	100万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	148	55	33	14	9	9	28	36.57	41.24
(%)	100	37.16	22.3	9.46	6.08	6.08	18.92		

問 18 母子家庭になる直前の働き方

	総数	最終学校を卒業し、結婚・出産後も最初に就職した仕事	転職経験はあるが、結婚・出産後も、仕事は続けていた	結婚、出産などで退職したものの、再び働いていた	結婚、出産などで退職していた	就業経験はなかった	その他	無回答
総数	1,311	41	233	403	528	51	49	6
(%)	100	3.13	17.77	30.74	40.27	3.89	3.74	0.46

問 18-1 仕事の就業形態

	該当者数	正社員・正規職員	パート・アルバイト	嘱託・契約社員	人材派遣会社の派遣社員	自営業主(商店主、農家など)	家族従業者	在宅勤務	家庭内職	その他	無回答
総数	677	128	400	31	26	14	32	4	8	16	18
(%)	100	18.91	59.08	4.58	3.84	2.07	4.73	0.59	1.18	2.36	2.66

問 19 母子家庭になる前後の仕事上の変化

	総数	そのままその仕事を続けた	仕事をやめ、無職になった	そのまま無職を続けた	転職した	新規に仕事について	仕事を追加した	その他	無回答
総数	1311	237	126	86	234	547	32	32	17
(%)	100	18.08	9.61	6.56	17.85	41.72	2.44	2.44	1.3

問 19-1 新しくついた仕事の就業形態

	該当者数	正社員・正規職員	パート・アルバイト	嘱託・契約社員	人材派遣会社の派遣社員	自営業主(商店主、農家など)	家族従業者	在宅勤務	家庭内職	その他	無回答
総数	813	167	459	74	60	1	6	1	6	16	23
(%)	100	20.54	56.46	9.1	7.38	0.12	0.74	0.12	0.74	1.97	2.83

問 19-2 仕事についての経路

	該当者数	公共職業安定所・パートバンクの紹介	母子自立プログラム策定員の紹介	母子家庭等就業・自立支援センターの紹介	親や親族などの紹介	友人、知人などの紹介	求人誌、新聞、チラシなどでみつけた	その他	無回答
総数	813	196	1	40	25	129	337	69	16
(%)	100	24.11	0.12	4.92	3.08	15.87	41.45	8.49	1.97

問 19-3 仕事を選んだ理由（複数回答）

	該当者数	身分が安定している	厚生年金や雇用保険に入れている	十分な収入が得られる	労働時間が短い・残業が少ない	通勤時間が短い	土日祝日に休める													
総数	813	70	246	83	168	285	339													
(%)	100	8.61	30.26	10.21	20.66	35.06	41.7													
就業時間に融通がきく	186	22.88	114	14.02	62	7.63	130	15.99	70	8.61	8	0.98	44	5.41	44	5.41	139	17.1	10	1.23
休暇がとりやすい																				
簡単な仕事である																				
経験や能力が発揮できる																				
技術・技能を身につけられる																				
在宅でできる																				
職場環境が良い																				
仕事の内容が面白い																				
その他																				
無回答																				

問 19-4 仕事を探している時の問題点（複数回答）

	該当者数	どこに相談すればいいのかわからなかった	気軽に利用できる相談先、情報入手先がなかった	求職中の子どもの保育の手だてがなかった	求人自体が少なかった	年齢制限があった								
総数	813	116	171	159	251	251								
(%)	100	14.27	21.03	19.56	30.87	30.87								
資格・技能が合わなかった	121	14.88	143	17.59	341	41.94	134	16.48	47	5.78	130	15.99	16	1.97
職業経験が少なかった														
子どもが小さいことが問題にされた														
母子家庭であることが問題にされた														
その他														
特に問題はなかった														
無回答														

問 19-5 仕事が決まるまでの時間

	該当者数	2か月未満	2か月	3か月～5か月	6か月～8か月	9か月～11か月	12か月～14か月	15か月以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	813	301	120	152	81	24	21	12	102	3.32	4.05
(%)	100	37.02	14.76	18.70	9.96	2.95	2.58	1.48	12.55		

問 20 母子家庭になった前後の仕事に向けての準備

	総数	準備した	特に準備の必要はなかった	準備の余裕がなかった	その他	無回答
総数	1,311	501	194	571	28	17
(%)	100	38.22	14.8	43.55	2.14	1.3

問 21 持っている資格（複数回答）

	総数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	理・美容師
総数	1,311	28	31	64	58	58	68	30	27
(%)	100	2.14	2.36	4.88	4.42	4.42	5.19	2.29	2.06
介護福祉士	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	資格は持っていない	無回答		
	28	304	260	364	971	385	108	12	
	2.14	23.19	19.83	27.77	74.07	29.37	8.24	0.92	

問 21-1 仕事に役立っている（た）資格（第一順位）

	該当者数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	
総数	1,203	22	16	35	4	11	23	2	
(%)	100	1.83	1.33	2.91	0.33	0.91	1.91	0.17	
理・美容師	介護福祉士	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	資格は持っていない	無回答	
	9	23	109	142	64	171	91	479	2
	0.75	1.91	9.06	11.8	5.32	14.21	7.56	39.82	0.17

問 21-1 仕事に役立っている（た）資格（第二順位）

	該当者数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	
総数	796	2	3	5	13	2	3	4	
(%)	100	0.25	0.38	0.63	1.63	0.25	0.38	0.5	
理・美容師	介護福祉士	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	資格は持っていない	無回答	
	3	1	29	26	40	135	45	479	6
	0.38	0.13	3.64	3.27	5.03	16.96	5.65	60.18	0.75

問 21-1 仕事に役立っている（た）資格（第三順位）

	該当者数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	
総数	592	0	1	0	1	0	0	0	
(%)	100	0	0.17	0	0.17	0	0	0	
理・美容師	介護福祉士	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	資格は持っていない	無回答	
	0	1	8	11	11	43	27	479	10
	0	0.17	1.35	1.86	1.86	7.26	4.56	80.91	1.69

問 21-1 仕事に役立っている（た）資格（第四順位）

	該当者数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	
総数	511	0	0	0	0	0	0	0	
(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	
理・美容師	0	介護福祉士	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	資格は持っていない	無回答
	0	1	1	1	2	7	9	479	11
	0	0.2	0.2	0.2	0.39	1.37	1.76	93.74	2.15

問 21-1 仕事に役立っている（た）資格（第五順位）

	該当者数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	理・美容師
総数	511	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0
介護福祉士	0	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	何もない	無回答	
	0	1	0	0	0	2	479	29	
	0	0.2	0	0	0	0.39	93.74	5.68	

問 21-2 母子家庭になってから取得した資格（複数回答）

	該当者数	看護師	准看護師	保育士	幼稚園教諭	教員	調理師	栄養士	
総数	1,191	13	9	8	2	0	28	0	
(%)	100	1.09	0.76	0.67	0.17	0	2.35	17.8	
理・美容師	0	介護福祉士	ホームヘルパー	パソコン	簿記	普通自動車免許	その他	資格は持っていない	無回答
	17.8	22	242	181	70	53	196	388	212
		1.85	20.32	15.2	5.88	4.45	16.46	32.58	17.8

問 21-3 資格の取得方法

	該当者数	職業訓練校など公共職業訓練施設に通った	母子福祉団体の主催する技能講習会に通った	ハローワークの主催する技能講習会に通った	自治体主催の技能講習会に通った	専修学校、各種学校に通った	通信教育を受けた	民間社会の主催する技能講習会に通った	その他	無回答
総数	594	97	131	29	29	99	44	92	66	7
(%)	100	16.33	22.05	4.88	4.88	16.67	7.41	15.49	11.11	1.18

問 21-4 資格を取得するための費用のまかない方法（複数回答）

	該当者数	自分の貯金や収入	親や親族の援助	雇用保険の教育訓練給付金	高等技能訓練促進費	自立支援教育訓練給付金	母子福祉資金貸付金	その他	無回答
総数	594	368	59	105	13	80	20	74	4
(%)	100	61.95	9.93	17.68	2.19	13.47	3.37	12.46	0.67

問 21-4 もっとも主要なまかない方法

	該当者数	自分の貯金や収入	親や親族の援助	雇用保険の教育訓練給付金	高等技能訓練促進費	自立支援教育訓練給付金	母子福祉資金貸付金	その他	無回答
総数	594	286	40	71	4	51	9	54	79
(%)	100	48.15	6.73	11.95	0.67	8.59	1.52	9.09	13.3

問 22 職業能力向上のために実施していることの有無

	総数	ある	希望はあるが実施できない	ない	無回答
総数	1,311	228	668	391	24
(%)	100	17.39	50.95	29.82	1.83

問 22-1 実施していること

	該当者数	回答あり	回答なし
総数	229	228	1
(%)	100	99.56	0.44

問 22-2 実施できない理由（複数回答）

	該当者数	仕事が忙しい	子育てや家事が忙しい	受講時の子どもの保育の手だてがない	近くに適当な施設や学校がない	どのような方法があるかわからない	費用が負担できかない	その他	無回答
総数	669	349	275	92	166	139	496	80	1
(%)	100	52.17	41.11	13.75	24.81	20.78	74.14	11.96	0.15

問 23 パソコンの使用

	総数	ほとんど毎日使う	週1、2回程度使う	たまに使う	過去は使っていたが、現在はほとんど使っていない	パソコンを使ったことがない	無回答
総数	1,311	655	90	199	186	173	8
(%)	100	49.96	6.86	15.18	14.19	13.2	0.61

問 23-1(a) パソコン操作の習熟度

操作の内容	該当者数	できない	少し聞けばできる	ほとんど一人でできる	人に教えることができる	無回答
1 メールのやり取り	1,130	112	234	499	266	19
(%)	100	9.91	20.71	44.16	23.54	1.68
2 情報の検索	1,130	55	170	584	305	16
(%)	100	4.87	15.04	51.68	26.99	1.42
3 ブログやホームページの作成	1,130	692	304	73	30	31
(%)	100	61.24	26.9	6.46	2.65	2.74
4 表計算 (Excel など)	1,130	200	366	393	147	24
(%)	100	17.7	32.39	34.78	13.01	2.12
5 文書作成 (Word など)	1,130	124	313	518	154	21
(%)	100	10.97	27.7	45.84	13.63	1.86
6 コンピュータ・グラフィック	1,130	840	200	38	16	36
(%)	100	74.34	17.7	3.36	1.42	3.19
7 データの管理・運営	1,130	579	344	149	34	24
(%)	100	51.24	30.44	13.19	3.01	2.12
8 プログラミング	1,130	950	122	24	5	29
(%)	100	84.07	10.8	2.12	0.44	2.57
9 会計、簿記ソフト	1,130	689	264	125	27	25
(%)	100	60.97	23.36	11.06	2.39	2.21
10 統計分析ソフト	1,130	844	215	37	6	28
(%)	100	74.69	19.03	3.27	0.53	2.48

問 23-1(b) 仕事上使用することの有無

操作の内容	該当者数	有	無	無回答
1 メールのやり取り	1,130	423	554	153
(%)	100	37.43	49.03	13.54
2 情報の検索	1,130	500	475	155
(%)	100	44.25	42.04	13.72
3 ブログやホームページの作成	1,130	59	886	185
(%)	100	5.22	78.41	16.37
4 表計算 (Excel など)	1,130	495	466	169
(%)	100	43.81	41.24	14.96
5 文書作成 (Word など)	1,130	540	426	164
(%)	100	47.79	37.7	14.51
6 コンピュータ・グラフィック	1,130	41	883	206
(%)	100	3.63	78.14	18.23
7 データの管理・運営	1,130	271	673	186
(%)	100	23.98	59.56	16.46
8 プログラミング	1,130	21	906	203
(%)	100	1.86	80.18	17.96
9 会計、簿記ソフト	1,130	155	785	190
(%)	100	13.72	69.47	16.81
10 統計分析ソフト	1,130	44	885	201
(%)	100	3.89	78.32	17.79

問 23-2 パソコン操作のうち、今後、使えるようになりたいものの有無

(複数回答)

	該当者数	ある	メールのやり取り	情報の検索	ブログやホームページの作成	表計算 (Excel など)	文書作成 (Word など)
総数	173	130	51	71	42	75	80
(%)	100	75.14	39.23	54.62	32.31	57.69	61.54

	コンピュータ・グラフィック	データの管理・運営	プログラミング	会計、簿記ソフト	統計分析ソフト	内容不明	ない	無回答
総数	22	51	21	36	27	21	40	3
(%)	16.92	39.23	16.15	27.69	20.77	16.15	23.12	1.73

問 23-3 パソコンを使えるようになりたい目的 (複数回答)

	該当者数	現在の仕事のため	在宅で仕事をするため	転職や再就職のため	趣味や教養のため	その他	無回答
総数	130	18	15	85	61	7	10
(%)	100	13.85	11.54	65.38	46.92	5.38	7.69

問 24 現在の暮らしの総合評価

	総数	苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
総数	1,311	521	487	256	25	8	14
(%)	100	39.74	37.15	19.53	1.91	0.61	1.07

問 25 現在の健康状態

	総数	よい	まあよい	普通	あまりよくない	よくない	無回答
総数	1,311	213	206	485	325	75	7
(%)	100	16.25	15.71	36.99	24.79	5.72	0.53

問 26 (1) 雇用保険への加入

	総数	加入している	加入していない	わからない	無回答
総数	1,311	857	407	28	19
(%)	100	65.37	31.05	2.14	1.45

問 26 (2) 医療保険への加入

	総数	職場で健康保険、共済組合などに加入	国民健康保険に加入	保険料未納・未加入	わからない	無回答
総数	1,311	767	464	33	17	30
(%)	100	58.5	35.39	2.52	1.3	2.29

問 26 (3) 公的年金への加入

	総数	職場で厚生年金、共済組合などに加入	国民年金に加入	保険料未納・未加入	わからない	無回答
総数	1,311	752	339	144	38	38
(%)	100	57.36	25.86	10.98	2.9	2.9

問 27 母子家庭のための児童扶養手当の受給

	総数	全額受給	一部受給	以前受給していたが収入要件ではずれた	以前受給していたが子どもの年齢要件ではずれた	受給したことがない	その他	無回答
総数	1,311	612	457	46	44	81	34	37
(%)	100	46.68	34.86	3.51	3.36	6.18	2.59	2.82

問 27 自動扶養手当の受給開始年

	該当者数	昭和	平成元年～5年	平成6年～10年	平成11年～15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年以降	無回答
総数	1,069	0	37	101	308	104	159	149	83	128
(%)	100	0	3.47	9.47	28.87	9.75	14.9	13.96	7.78	11.81

問 27 児童扶養手当の受給対象人数

	該当者数	1人	2人	3人	4人	5人以上
総数	1,069	601	364	92	9	3
(%)	100	56.22	34.05	8.61	0.84	0.28

問 27 児童扶養手当の受給月額

	該当者数	2万円未満	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,069	49	72	163	700	14	1	70	39,813	8,895
(%)	100	4.58	6.74	15.25	65.48	1.31	0.09	6.55		

問 28 世帯全体の収入総額

	総数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	56	341	341	143	42	15	30	343	242.38	131.65
(%)	100	4.27	26.01	26.01	10.91	3.2	1.14	2.29	26.16		

問 28-1 子の父からの養育費（年額）

	総数	0円	3万円未満	3万円～5万円台	6万円～8万円台	9万円～11万円台	12万円～14万円台	15万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	998	0	0	0	0	12	292	9	12.91	28.17
(%)	100	76.13	0	0	0	0	0.92	22.27	0.69		

問 29 新しくフルタイムの仕事を探す場合の保証年収（留保賃金）

	総数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	15	399	611	202	39	8	3	34	222.25	76.41
(%)	100	1.14	30.43	46.61	15.41	2.97	0.61	0.23	2.59		

問 30 世帯月平均家計費総額

	総数	10万円未満	10万円～14万円	15万円～19万円	20万円～24万円	25万円～29万円	30万円～34万円	35万円～39万円	40万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	268	287	327	171	57	32	1	7	161	135.13	323.78
(%)	100	20.44	21.89	24.94	13	4.35	2.44	0.08	0.53	12.28		

問 30-1 家計費のうち、子供のためにかかった費用月額

	総数	3万円未満	3万円～5万円	6万円～8万円	9万円～11万円	12万円～14万円	15万円～17万円	18万円～20万円	21万円以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	6	33	22	69	7	35	111	919	109	55.47	55.46
(%)	100	0.46	2.52	1.68	5.26	0.53	2.67	8.47	70	8.31		

問 31 母子家庭になってからの両親や親族からの世話や援助経験

	総数	しばしば受けている	たまに受けている	受けたことがない	無回答
総数	1,311	542	401	356	12
(%)	100	41.34	30.59	27.15	0.92

問 31-1 援助の内容（複数回答）

	該当者数	生活費の援助	子どもの養育費・教育費の援助	住宅についての援助	日常の子どもの世話	子どもが病気のときの世話	日常の家事援助	その他	無回答
総数	943	363	180	316	464	520	375	139	3
(%)	100	38.49	19.09	33.51	49.2	55.14	39.77	14.74	0.32

問 32 就職や仕事の問題解決のためにほしい支援策（複数回答）

	総数	身近なところで技能講習などの受講機会がふえること	訓練受講などに経済的援助が受けられること	訓練などが受講しやすくなること	仕事さがしなどの時に一時的に子を預かってもらうこと	相談が1カ所で受けられること
総数	1,311	655	786	525	182	204
(%)	100	49.96	59.95	40.05	13.88	15.56

就職のための支援策などの情報が得られること	自分で事業を起こす場合に相談や援助が得られること	保育所が整備されること	延長保育、休日保育が充実すること	学童保育が充実すること	その他	無回答
452	108	96	246	303	152	17
34.48	8.24	7.32	18.76	23.11	11.59	1.3

問 33 母子家庭等就業・自立支援センターの利用経験

	総数	ある	ない	無回答
総数	1,311	832	461	18
(%)	100	63.46	35.16	1.37

問 33 利用開始年度

	該当者数	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	無回答
総数	832	49	78	201	331	164	9
(%)	100	5.89	9.38	24.16	39.78	19.71	1.08

問 33 利用しなかった理由（複数回答）

	該当者数	事業を知らなかったから	身近なところにならなから	必要なかったから	その他	無回答
総数	460	200	96	109	48	23
(%)	100	43.48	20.87	23.7	10.43	5

問 33-1 利用した母子家庭等就業・自立支援センターの支援内容（複数回答）

	該当者数	就業相談	就業支援講習会	就業情報提供	生活相談	弁護士らの法律相談	その他	無回答
総数	832	591	235	424	85	67	28	8
(%)	100	71.03	28.25	50.96	10.22	8.05	3.37	0.96

問 33-2 公的就業支援メニュー（ア）利用の有無

	総数	有	無	無回答
1 自立支援教育訓練給付金事業 (%)	1,311 100	147 11.21	1,096 83.6	68 5.19
2 高等技能訓練促進費事業 (%)	1,311 100	28 2.14	1,203 91.76	80 6.1
3 母子自立支援プログラム策定事業 (%)	1,311 100	185 14.11	1,050 80.09	76 5.8

問 33-2 公的就業支援メニュー（イ）利用しなかった理由

	該当者数	事業を知らない	必要なかった	申請したが、利用できなかった	その他	無回答
1 自立支援教育訓練給付金事業 (%)	1,097 100	595 54.24	267 24.34	46 4.19	131 11.94	58 5.29
2 高等技能訓練促進費事業 (%)	1,204 100	740 61.46	272 22.59	13 1.08	119 9.88	60 4.98
3 母子自立支援プログラム策定事業 (%)	1,051 100	784 74.6	164 15.6	11 1.05	46 4.38	46 4.38

問 33-2 公的就業支援メニュー（ウ）利用後の感想

	該当者数	とても役に立った	少し役に立った	ほとんど役に立たな	まったく役に	無回答
1 自立支援教育訓練給付金事業 (%)	149 100	83 55.7	48 32.21	8 5.37	4 2.68	6 4.03
2 高等技能訓練促進費事業 (%)	30 100	17 56.67	3 10	0 0	1 3.33	9 30
3 母子自立支援プログラム策定事業 (%)	187 100	77 41.18	67 35.83	18 9.63	17 9.09	8 4.28

問 33-3 母子家庭の母を対象とする4事業について、利用しにくい点や改善点

	総数	回答あり	回答なし
総数 (%)	1,311 100	658 50.19	653 49.81

問 34 年齢

	総数	16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	無回答	平均値	標準偏差
総数 (%)	1,311 100	0 0	21 1.6	72 5.49	221 16.86	344 26.24	330 25.17	197 15.03	70 5.34	16 1.22	40 3.05	39.27	6.81

問 35 母子家庭になったときの年齢

	総数	16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	無回答	平均値	標準偏差
総数 (%)	1,311 100	11 0.84	87 7	244 18.61	346 26.39	363 27.69	162 12.36	61 4.65	11 0.84	1 0.08	25 1.91	33.78	6.55

問 36 母子家庭となった理由

	総数	死別	離婚	別居	未婚・非婚	その他	無回答
総数	1,311	68	1,136	14	72	5	16
(%)	100	5.19	86.65	1.07	5.49	0.38	1.22

問 36-1 結婚したときの年齢

	該当者数	16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,218	56	473	434	175	51	14	1	14	25.89	4.75
(%)	100	4.6	38.83	35.63	14.37	4.19	1.15	0.08	1.15		

問 36-2 離婚・別居時の相手方の年収

	該当者数	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円以上	わからない	無回答
総数	1,150	88	91	191	257	147	96	81	25	29	123	22
(%)	100	7.65	7.91	16.61	22.35	12.78	8.35	7.04	2.17	2.52	10.7	1.91

問 37 世帯人数

	総数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	13	444	419	230	176	29	3.14	1.17
(%)	100	0.99	33.87	31.96	17.54	13.43	2.21		

問 37-1 世帯構成員（複数回答）

	総数	本人	未婚の子供	既婚の子供	孫	親	兄弟・親族	友人・知人	その他	無回答
総数	1,311	1,308	644	52	4	294	70	0	13	3
(%)	100	99.77	49.12	3.97	0.31	22.43	5.34	0.23	0.99	0.23

問 37-1 もっとも収入の多い人

	総数	本人	未婚の子供	既婚の子供	孫	親	兄弟・親族	友人・知人	その他	無回答
総数	1,311	877	14	0	0	96	12	0	1	311
(%)	100	66.9	1.07	0	0	7.32	0.92	0	0.08	23.72

問 38 子どもの人数

	総数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	589	505	156	31	5	25	1.72	0.80
(%)	100	44.93	38.52	11.9	2.36	0.39	1.91		

問 38 一番年上の子の年齢

	総数	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25歳以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	132	319	374	276	115	28	67	12.01	6.02
(%)	100	10.07	24.33	28.53	21.05	8.77	2.14	5.11		

問 38 一番年下の子の年齢

	総数	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25歳以上	無回答	平均値	標準偏差
総数	1,311	216	434	373	219	7	0	62	9.48	4.79
(%)	100	16.5	33.1	28.45	16.7	0.53	0	5		

問 38-1 子どもの健康状態

	総数	元気	よく小さな病気をしますが、おおむね元気	軽い持病を持っている	通院または入院する必要がある重病・難病を持っている	無回答
総数	1,311	735	298	194	59	25
(%)	100	56.06	22.73	14.8	4.5	1.91

問 38-2 平日の日中の子どもの保育者

	該当者数	自分	親・親族	年長のお子さん	友人・知人(有償)	友人・知人(無償)	認可保育所	無認可保育所	幼稚園	ベビーシッター	その他	無回答
総数	434	68	109	4	1	2	310	7	35	1	14	3
(%)	100	15.67	25.12	0.92	0.23	0.46	71.43	1.61	8.06	0.23	3.23	0.69

問 39 最終学歴

	総数	中学校	高等学校	専修学校・各種学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
総数	1,311	79	624	177	294	99	4	8	26
(%)	100	6.03	47.6	13.5	22.43	7.55	0.31	0.61	1.98

問 40 最終学校卒業年度

	総数	昭和49年以前	昭和50～54年	昭和55～59年	昭和60～63年	昭和年不明	平成元年～4年	平成5年～9年	平成10～14年	平成15年以降	平成年不明	無回答
総数	1,311	38	110	257	263	24	266	181	73	35	7	57
(%)	100	2.9	8.39	19.6	20.06	1.83	20.29	13.81	5.57	2.67	0.53	4.35

問 40-1 最初に働いたときの就業状態

	総数	正社員・正規職員	パート・アルバイト	嘱託・契約社員	人材派遣会社の派遣社員	自営業主(商店主、農家など)	家族従業者	在宅勤務	家庭で内職	その他	無回答
総数	1,311	992	190	38	10	7	17	0	0	31	26
(%)	100	75.67	14.49	2.9	0.76	0.53	1.3	0	0	2.36	1.98

問 41 住居形態

	総数	持ち家	親・親族の持ち家	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅	社宅・寮などの給与住宅	母子生活支援施設などの社会福祉施設	その他	無回答
総数	1,311	157	381	321	378	7	13	30	24
(%)	100	11.98	29.06	24.49	28.83	0.53	0.99	2.29	1.83

問 42 再婚（結婚）についての考え

	総数	できれば早く再婚（結婚）したい	急ぐ気持ちはないが、いずれは再婚（結婚）したい	再婚（結婚）したくない	どちらともいえな	無回答
総数	1,311	82	297	412	495	25
(%)	100	6.25	22.65	31.43	37.76	1.91

問 43 行政、企業、社会に期待したい就業支援

	総数	回答あり	回答なし
総数	1,311	1,019	292
(%)	100	77.73	22.27

(おわり)

労働政策研究報告書 No. 101

母子家庭の母への就業支援に関する研究

発行年月日 2008年5月30日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

(販売) 研究調整部成果普及課 TEL:03-5903-6263

FAX:03-5903-6115

印刷・製本 有限会社 太平印刷

©2008 JILPT

* 労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。

(URL:<http://www.jil.go.jp/>)